

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成22年9月2日(2010.9.2)

【公表番号】特表2009-543579(P2009-543579A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-520824(P2009-520824)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/06 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 19/00

C 0 7 K 16/00

C 0 7 K 16/28

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 31/06

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月16日(2010.7.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単離または組換え可溶性 W S X - 1 / p 2 8 ポリペプチド複合体、単離または組換え可溶性 W S X - 1 / E B I 3 ポリペプチド複合体、単離または組換え可溶性 W S X - 1 / I L - 2 7 複合体、単離または組換え可溶性 g p 1 3 0 / p 2 8 ポリペプチド複合体、単離または組換え可溶性 g p 1 3 0 / E B I 3 ポリペプチド複合体、単離または組換え可溶性 g p 1 3 0 / I L - 2 7 複合体、またはその変異体を含む組成物。

【請求項 2】

一つまたは複数の T 細胞、一つまたは複数の B 細胞、肥満細胞、好中球、マクロファージ、樹状細胞、g p 1 3 0 を発現する細胞、または W S X - 1 を発現する細胞をさらに含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記 T 細胞が、I L - 2、I F N - 、T N F - 、I L - 6、I L - 4、I L - 1 3、I L - 1 7、I L - 2 5、I L - 1 0、I L - 5、または C D 2 5 の改変された発現、増殖の改変、または改変された生存を示す、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

形質転換増殖因子を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

組換えまたは単離された W S X - 1 融合タンパク質であって、

細胞特異的マーカーを認識する一つまたは複数のドメイン、

p 2 8 または E B I 3 に由来する一つまたは複数のポリペプチドドメイン、または、

細胞特異的マーカーを認識する一つまたは複数の抗体ドメイン

を含む、組換えまたは単離された W S X - 1 融合タンパク質。

【請求項 6】

前記細胞特異的マーカーが C D 4、C D 8、C D 1 1 c、C D 1 1 b、および N K 1 . 1 から選択される、請求項 5 に記載の組換えまたは単離された融合タンパク質。

【請求項 7】

組換えまたは単離された p 2 8 融合タンパク質であって、一つまたは複数の抗体ドメインを含み、前記抗体ドメインの少なくとも 1 つが細胞特異的マーカーを認識する、組換えまたは単離された p 2 8 融合タンパク質。

【請求項 8】

前記細胞特異的マーカーが C D 4、C D 8、C D 1 1 c、C D 1 1 b、および N K 1 . 1 からなる群から選択される、請求項 7 に記載の組換えまたは単離された融合タンパク質。

【請求項 9】

可溶性 W S X - 1 ポリペプチド、可溶性 W S X - 1 / p 2 8 ポリペプチド複合体、または可溶性 W S X - 1 / I L - 2 7 ポリペプチド複合体に特異的に結合する抗体。

【請求項 10】

哺乳動物患者への投与を含む、炎症性疾患の治療剤製造のための、組換えまたは単離された部分の使用であって、前記部分が、可溶性 W S X - 1 ポリペプチド、p 2 8 ポリペプチド、可溶性 W S X - 1 / p 2 8 ポリペプチド複合体、可溶性 W S X - 1 / E B I 3 ポリペプチド複合体、可溶性 W S X - 1 / I L - 2 7 ポリペプチド複合体、可溶性 g p 1 3 0 / I L - 2 7 複合体、可溶性 g p 1 3 0 / p 2 8 ポリペプチド複合体、可溶性 g p 1 3 0 / E B I 3 ポリペプチド複合体、p 2 8 ポリペプチドおよび可溶性 W S X - 1 ポリペプチド、E B I 3 ポリペプチドおよび可溶性 W S X - 1 ポリペプチド、I L - 2 7 および可溶性 W S X - 1 ポリペプチド、可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドおよび p 2 8 ポリペプチド、

可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドおよび I L - 2 7、可溶性 g p 1 3 0 ポリペプチドおよび E B I 3 ポリペプチド、g p 1 3 0 / W S X - 1 / I L - 2 7 複合体に特異的に結合し、またはその活性を調節する部分、およびこれらの変異体からなる群より選択される、使用。

【請求項 1 1】

前記炎症性疾患が、免疫異常、感染、癌、アレルギー、関節炎、喘息、炎症性腸疾患、クローン病、ブドウ膜炎、乾癬、狼瘡、多発性硬化症、慢性感染性疾患、結核、強直性脊椎炎、移植片拒絶、サルコイドーシスおよび肝炎からなる群から選択される、請求項 1 0 に記載の使用。

【請求項 1 2】

前記投与の前に、前記炎症性疾患の前記哺乳動物患者の診断を含む、請求項 1 0 に記載の使用。

【請求項 1 3】

前記組換えまたは単離された部分が、形質転換増殖因子 と組み合わせて前記患者に投与される、請求項 1 0 に記載の使用。